

〔DVを理解するために〕

Q.なぜ被害者は逃げないのですか

Q.被害者にはどんな影響があるのですか

Q.子どものために我慢した方がよいのでは

Q.暴力を振るわれる側にも問題があるのでは

DVチェック！

あなたは、パートナーとの関係で次のようなことはありませんでしたか？

- ☐ 「バカだ」「何もできない」など、人格を傷つける暴言を吐く
- ☐ 「誰に食べさせてもらっているんだ」と怒鳴る
- ☐ 怒ると物を投げつけたり、壁を叩いたりする
- ☐ 何を言っても無視して口をきかない
- ☐ 殴ったり蹴ったりする
- ☐ 望まない性行為を無理やり強要する
- ☐ 避妊に協力しない
- ☐ 実家や友だちとの付き合いを制限する
- ☐ 生活費を渡さない
- ☐ 子どもの前でバカにしたり、殴ったりする
- ☐ 「自殺する」と言って脅す

DVをなくすために

DVに対する思い込みや「夫婦はこうあるべき」という社会通念がDV被害を助長する原因の一つにもなっています。DVをなくすためには、私たち一人ひとりが

『配偶者等からの暴力は絶対許さない！』
という意識を持つことが重要です。

A. 背景にはさまざまな問題が生じます

恐怖感

- ・逃げたとしてもひどい暴力を受けるかも

無力感

- ・誰も助けてくれない・離れることはできない

複雑な心理

- ・いつか相手が変わってくれるかも
- ・暴力を振るわれるのは自分が悪いから

経済的問題

- ・自分の収入だけでは生活できない

子どもの問題

- ・子どもを危険に巻き込んでしまう
- ・子どもの学校をどうしよう

失うもの

- ・仕事を辞めないといけない
- ・住み慣れた土地を離れなければならない

A. DVは心身に深い傷を残します

被害者は暴力によって、怪我などの身体的な影響を受けるほか、PTSDなどの精神的な影響により、いつも不安でおびえたり、生きる気力を失ってしまうこともあります。

A. DVは子どもの心身の発達や成育過程に影響します

暴力を目撃したことによって、子どもに様々な心身の症状が表れることもあります。また、暴力を目撃しながら育った子どもは、自分が育った家庭での人間関係のパターンから、感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを学習することもあります。

A. どんな理由があれ、暴力は振るう側に問題があります

暴力を振るう人は、「言うことを聞かないからだ」などと様々な理由をあげますが、どんな理由であれ暴力は許されるものではありません。

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは・・・

DVとは、「殴る」「蹴る」などの身体的暴力だけではなく、次のような精神的暴力、性的暴力などもDVです。DVにはさまざまな形態があり、多くの場合、これらが複雑に絡み合い、繰り返し行われるという特徴があります。



DVは特別なものと考えている人も多いのではないのでしょうか。しかし、DVは私たちの身近に起こっている問題です。

市の調査でも、**女性の約3人に1人**が配偶者等からの暴力被害を受けていたことがあると回答しています。また、女性だけでなく、**男性が暴力被害を受けている**こともあります。